

校長・副校長・  
教頭先生に役立つ!



【発行日】 平成 30 年 12 月 21 日  
【発行者】 茨城県教育庁就学前教育・家庭教育推進室  
電話 (029) 301-5132

【取材・編集】 一般社団法人 子育てネットワークままもり

すくすく育て いばらきっ子

就学前教育・家庭教育推進室だより

## 平成30年度 第2回保幼小接続コーディネーター養成研修

第2回保幼小接続コーディネーター養成研修が各地区で行われ、幼児教育アドバイザーを含め、合計531名の参加がありました。第1回のアンケートで「実践事例を知りたい。」という要望が多かったため、今回の研修では先進的な取組を進めている市町村の担当者より実践発表を行っていただきました。

### 水戸地区 (11月9日 参加者125名)



- 【内 容】
- ・子の「育ち」をつなぐ「環境」をつなぐ「東海村つながるプラン」
  - ・中丸小学校における保幼小連携協議会 & 実技研修
  - ・接続に向けて取り組む上で「難しかったこと」、「どうやって乗り越えたか」

(発表者 東海村教育委員会 根本 和典 係長)

### 県北地区 (11月14日 参加者61名)

- 【内 容】
- ・モデル事業を受けての実践の方向性
  - ・2年間の実践 (中小路小学校の実践など)
  - ・保幼小接続コーディネーターに期待される役割

(発表者 日立市教育委員会 益子 真紀 指導主事)



### 鹿行地区 (11月15日 参加者61名)



- 【内 容】
- ・三笠小学校における保幼小の交流内容の紹介
  - ・就学相談や入学式事前見学などの特別支援教育、保幼小の接続
  - ・連携・接続について (スタートカリキュラムの作成など)

(発表者 鹿嶋市教育委員会 宗次 直巳 指導主事)

### 県南地区 (11月20日 参加者171名)

- 【内 容】
- ・「美浦幼稚園アプローチカリキュラム」や「木原ビジョン」、  
「美浦中ビジョン」などの紹介
  - ・木原小学校、安中小学校、大谷小学校の児童と幼児の交流活動や  
教員、保育者の連携活動
  - ・相互参観などの研修会

(発表者 美浦村教育委員会 及川 和男 指導室長)



### 県西地区 (11月22日 参加者113名)



- 【内 容】
- ・川西小学校における連携・接続に向けた実践とカリキュラムの紹介
  - ・研究実践における成果と課題
  - ・研究を実践する上での困難及びそれをどう乗り越えたか

(発表者 八千代町教育委員会 田神 昭 指導主事)

### ◆ 参加者からの感想 ◆

- ・実践発表や各校の実践の情報共有の時間が大変参考になりました。  
来年度も継続して取組についての共有ができればいいと思います。
- ・保育参観での園児の見取り方などを研修したいです。
- ・家庭教育も含めて保幼小の接続を行うことは大切であると思いました。

実践事例の資料を御希望の方は、  
就学前教育・家庭教育推進室にお  
問い合わせください。

## 教えて！ 校長先生

このコーナーでは、学校管理職の就学前教育・家庭教育の取組をご紹介します。今回は、**高萩市立東小学校 根本 幸恵 校長** にお話を伺いました。

本校は、学校の校舎内に幼稚園が併設されており、「幼児教育と小学校教育の接続」に大変取り組みやすい環境にあります。そこで、「遊びや学び」の場面に応じた幼小交流を効果的に進めています。そのため、「異年齢の子ども同士が仲良く助け合い、学び合う」学校文化が自然に醸成されています。

特に、幼小連携の共通指針として「よい習慣づくり」があります。園児は、登園すると正門前で姿勢を正して園長先生と「おはようございます。」と挨拶することから一日が始まります。共用の下駄箱にはいつも靴が整然と並べられています。児童は、休み時間の終了時刻を時計で確認し、全員走って戻ります。「日々の積み重ねによるよい習慣」を少しずつ増やしていくことが、「生きる力」の育成につながると考えます。

一方、高萩市はコミュニティー・スクールの推進にも注力しています。市内の保幼小中を4つの地区（ユニット）に分け、各々特色を生かして、「幼児・学校・家庭教育や地域の教育力」の連携を図っています。実践を通して、子どもたちの「発達段階の接続」を縦糸に、「取り巻く環境の連携」を横糸にして、紡ぎ合う取組の先に、豊かな成長があると感じています。



## 家庭教育支援資料「家庭教育フックひよこ」活用モデル事業を実施しています！

モデル市町村の幼児教育施設では、「ひよこ」の効果的な活用法について研究し、保護者向け講座の学習プログラムや子どもの送迎時など短時間で活用できるアドバイsprogramを作成し、実践しています。そこで、今月号と来月号で各幼児教育施設での実践事例を紹介します。

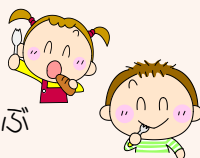
### ◆ 村立村松幼稚園（東海村） ◆

【テーマ】食育の大切さを考える

【内容】子どもの食事に関する悩みを共有し、子どもと食事を楽しむための工夫を学ぶ

【保護者の感想】

食育というと栄養学の内容ばかりだと思っていましたが、違った角度から食育について学べたり、普段関わったことがない保護者の方たちと話ができたりして、楽しく学ぶことができました。



### ◆ 茨城キリスト教大学附属こども園せいじ園（日立市） ◆

【テーマ】メディアの視聴を考える

【内容】幼児期の子どもとメディアの賢い付き合い方について学ぶ

【保護者の感想】

五感が急激に発達するこの時期に、メディアに頼るのではなく、体を使った遊び（特に外遊び）を体験させることが大切だということを改めて感じました。



### ◆ 市立高松幼稚園（鹿嶋市） ◆

【テーマ】いろいろな体験活動をしましょう

【内容】体験活動の大切さを学び、自然の中で親子体操や落ち葉遊びを行う

【保護者の感想】

身近な公園でこんなに楽しく体験活動ができたことに驚きました。休日にまた来て、今日のプログラムをしてみたいです。

